

ロンドン、2020年11月3日

中国の HBIS 集団より、BOF 転炉から KOBM 転炉への改造工事を受注

- 底吹きシステムと新しいプロセス制御システムの導入
- 新しい KOBM 転炉は吹錬処理時間を短縮し、鋼の清浄度を改善
- 向上した鋼質は自動車産業のニーズに合致

プライメタルズテクノロジーズ (Primetals Technologies) は HBIS 集団邯鄲鋼鉄 (以下、HBIS 集団) より、中国河北省邯鄲にある同社製鉄所の既設 BOF 転炉を、オートメーションシステム一式を含めて KOBM (Kombinierter Oxygen Blown Bottom Maxhütte) 転炉にアップグレードする改造工事を受注しました。BOF 転炉に比べて、KOBM 転炉は上底吹きの複合転炉であるため、鋼浴の攪拌性が向上し、冶金反応がより平衡に近づきます。また、生石灰インジェクションによって、迅速なスラグ生成と、優れたプロセスおよびスロッピング制御が実現します。よって、吹錬処理時間が短縮され、出鋼時の溶鋼中の炭素-酸素平衡値が低下し、スラグ量とスラグ中の酸化鉄量低減により歩留まりが改善され、介在物と不純物が最小限に抑えられることで清浄度が一層高い鋼を溶製できるようになります。こうして向上した鋼質は、特に自動車産業のニーズに合致します。その上、この新しい転炉は、出鋼時の取鍋添加物のほかに、生石灰添加にかかるコストも節減します。

HBIS 集団は、当社製 KOBM 転炉の豊富な納入量、最新の製鋼技術に関して当社が有するプラントエンジニアリング、冶金、プロセス、オートメーションの複合的ノウハウを評価しています。当社と、フォーチュン 500 に名を連ねる HBIS 集団は、これまで 14 年以上にわたり、新プラント建設、既存プラント改造および近代化、ライフサイクル管理、自動化とデジタル化について協力してきました。



プライメタルズテクノロジーは、集団邯鄲鋼鉄の既設 BOF 転炉をオートメーションシステム一式を含めて KOBM 転炉にアップグレードする予定です。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタルイゼーション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、従業員数は全世界で約7,000人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: <https://www.primetals.com/jp>

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Mitsubishi Heavy Industries and partners
Communications
Head: Gerlinde Djumlija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2020112128jp